

新宮山彦ぐるーぷ第2180回

三井寺、熊野修験奥駈行終了後の行仙宿点検と補給路段差改修

◇実施日 5月22日(日) 晴

◇参加者 沖崎吉信、梶野照雄 2名

三井寺と熊野修験の順峰奥駈行が終了し、行仙宿小屋の状態や幟の濡れ、ストーブの雨漏りなどが気になり、梶野君と二人で出向くことになった。

午前10時前に補給路登山口に着いたが、熊野修験サポート隊の車は姿が無く、早々に前鬼へ移動したようだ。南側に一台の車が停まっていたが笠捨山日帰りの登山者だった。



行仙宿に到着

幟を天日干し

板を切る

行仙宿小屋に着くと一人の登山者が横になっていた。吉野からの縦

走者で「大変疲れたので、今日一日ここでゆっくりする」とのことだった。

梶野君は前回の続きで、小屋南側の間伐材をチェーンソーで整理する。作業前にお堂に収納されていた幟を全部出して、日当たりの良い場所に並べて天日干しをする。前日の小雨でまだ少し湿り気が残っていた。小屋と管理棟を見回るが、熊野修験サポート隊の皆さんの手できれいに整理・清掃されていたので、手を加えることは無かった。



マキ用に玉切り

補修個所に小石を敷く

段差を新設

20日に煙突の隙間をテープでふさいだので、ストーブ内に水は入っていなかったが、かなりの量の灰が溜まっており、全て掻き出して底が見えるようにした。

今日は、21番鉄塔付近の小石を採取して改修した補給路に敷く作業と、モノレール終点下の段差改修作業を予定しているので、早めの昼食を済ませ小屋を後にする。梶野君は倉庫から二輪車と土のう

袋を持ち出し、これで運んでみるという。小石を採取する場所に着いたが、袋に小石を入れるのに時間が掛かり、いっぱいになった袋を2輪車に載せて下りだが、段差が大きいのと、道幅が狭いのでスムーズに運ぶことが出来なかった。結局途中から肩に担いで現場まで運んだ。2往復して4 m位に小石を敷き終えた。この作業は行仙宿訪問の都度、しばらく続ける必要がある。

続いてモノレール終点下の段差、4段の改修に取り掛かる。この部分は谷側の崩れ方が激しく、以前の段差が役に立たなくなっていた。谷側の栈木を取り替えて確実な土留を作る。直径10 cm位の伐材をくい丸を使って上下を固定し、2段の土留を作った。足場が悪く、くい丸を打ち込むのにも一苦労、なんとかしつかりした土留が出来、段差の新設に取り掛かる。山側を削って道幅60 cmを確保した。



小石を敷く

4段が完成

登山口で製材

一時間ほどで4段の新しい階段が完成した。補給路も改修が必要

な個所が目立ってきた。改修工事に皆さんのご協力をお願いしたい。

(記；沖崎)

行動タイム

10:00 補給路登山口↓10:45 行仙宿↓13:00 補給路補修箇所↓13:13
モノレール終点14:24↓14:35 補給路登山口